

Topics

一関工業高等専門学校と岩手県南技術研究センターとの連携に関する協定締結

3月16日、一関工業高等専門学校と岩手県南技術研究センターは、相互の連携・協力により地域の振興を図るため、教育研究活動及び地域の活性化に資する事業を推進し、併せて相互発展に寄与することを目的とし、教育・研究活動全般に係る連携に関する協定を締結しました。

岩手県南技術研究センターと一関工業高等専門学校は、お互いの保有設備や機器を利用するなど相互に協力して、地域連携研究や人材育成を行ってきましたが、何らかの取り決めや連携協定がありませんでした。今回の連携協定は、両機関の教職員がお互いに協力して地域貢献や教育研究を行うことを目的としており、ここには設備使用に関する研修や公開講座の講師派遣など人的交流も含まれます。



3月16日 協定締結式の様子

Topics

令和3年度経済産業省 地域関連施策について

3月17日、岩手県南広域振興局にて、令和3年度経済産業省地域関連施策についての説明会があり、出席して参りました。目玉の施策として、過去最大の1兆1,485億円の補助事業予算額となる、「中小事業等事業再構築促進事業」の紹介がありました。概要は以下の通りです。募集開始は、3月後半となる見込みですが、公募開始日程等公式案内や、事業の動画説明等、経済産業省HPが随時更新されていますので、こちらをご確認下さい。当センターから東北経済産業局窓口もご紹介できますので、お気軽にご相談下さい。

<p>飲食業</p> <p>喫茶店経営 →飲食スペースを縮小し、新たにコーヒー豆や焼き菓子のテイクアウト販売を実施。</p>	<p>飲食業</p> <p>弁当販売 →新規に高齢者向けの食事宅配事業を開始。地域の高齢化へのニーズに対応。</p>	<p>飲食業</p> <p>レストラン経営 →店舗の一部を改修し、新たにドライブイン形式での食事のテイクアウト販売を実施。</p>	<p>小売業</p> <p>ガソリン販売 →新規にフィットネスジムの運営を開始。地域の健康増進ニーズに対応。</p>
<p>サービス業</p> <p>ヨガ教室 →室内での密を回避するため、新たにオンライン形式でのヨガ教室の運営を開始。</p>	<p>製造業</p> <p>航空機部品製造 →ロボット関連部品・医療機器部品製造の事業を新規に立上げ。</p>	<p>製造業</p> <p>半導体製造装置部品製造 →半導体製造装置の技術を応用した洋上風力設備の部品製造を新たに開始。</p>	<p>製造業</p> <p>伝統工芸品製造 →百貨店などの売上が激減。ECサイト（オンライン上）での販売を開始。</p>
<p>運輸業</p> <p>タクシー事業 →新たに一般貨物自動車運送事業の許可を取得し、食料等の宅配サービスを開始。</p>	<p>食品製造業</p> <p>和菓子製造・販売 →和菓子の製造過程で生成される成分を活用し、新たに化粧品製造・販売を開始。</p>	<p>建設業</p> <p>土木造成・造園 →自社所有の土地を活用してオートキャンプ場を整備し、観光事業に新規参入。</p>	<p>情報処理業</p> <p>画像処理サービス →映像編集向けの画像処理技術を活用し、新たに医療向けの診断サービスを開始。</p>

- 要件:①申請前の直近6ヶ月間の内、任意の3ヶ月の合計売上がコロナ以前の同3ヶ月と比較して10%以上減少していること。
②事業再構築指針に沿った新分野展開、業態転換、事業・業種転換を行う。
③認定経営革新等支援機関*1と事業計画策定*1:一関商工会議所,一関信用金庫,岩手銀行,東北銀行,北日本銀行等

補助内容：100万円～6,000万円(補助率2/3)等
申請方法：電子申請 GビズIDの取得が必要

東北経済産業局HPより抜粋～中小企業等事業再構築補助金活用イメージ～
https://www.tohoku.meti.go.jp/chiiki_supporter/topics/210126.html#01



第3水曜日は・・・
イブニングの日

第225回産学官イブニング研究交流会について
新型コロナウイルス感染予防のため、今年度の開催は中止とし、来年度収束状況を鑑みて再開したいと思います。ご理解とご協力をお願いいたします。

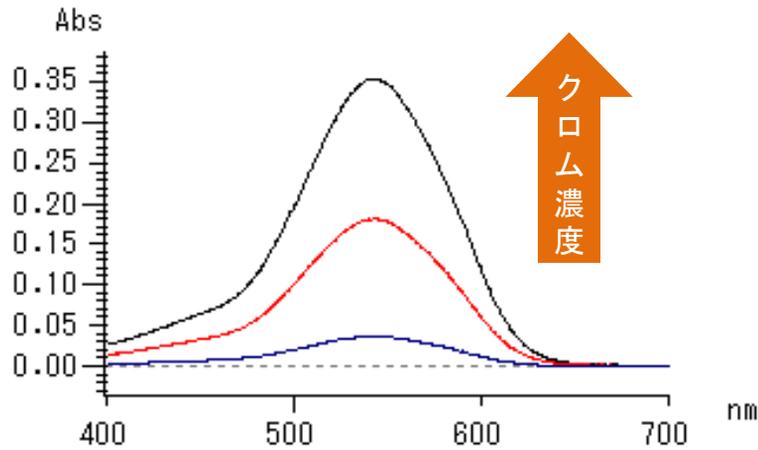
定量分析（目的の成分がどれくらい含まれるか？）法の一つとして、吸光光度法（比色法）があります。試料に光を当てて、通過する前後でどのくらいの光を吸収または透過したか測定します。水道水は無色透明ですが、含まれている鉄などの色は殆ど見えません。そこで、鉄と反応することで色がでる試薬（呈色試薬）を加えて発色させます。一般的に、含まれる成分の量と光の吸収は比例しますので、あらかじめ濃度の分かっている試料の光の吸収（吸光度）と比較することで定量が可能です。

JIS K 0102やRoHS指令の六価クロムの分析には、吸光光度法が指定されている項目もあります。また工業用途以外にも、食品中に含まれるアントシアニンなどの総ポリフェノールを測定する事も可能です。



六価クロムの発色の様子
(ジフェニルカルバジドによる)

→クロムの量が多いほど、色が濃くなっていることが分かる。



クロム濃度が高いほど、ピークが大きくなっている（より光を吸収している）。濃度既知の試料と、未知試料の吸光度を比較して、定量を行う

Topics

公益財団法人岩手県南技術研究センター第34回理事会開催

3月16日、当センターの第34回理事会を開催し、令和3年度事業計画及び予算書等について承認されましたので報告いたします。概要につきましては、技研だより4月号にて説明させていただきますと思います。令和2年度の当センターの御利用状況については、コロナ禍にも関わらず、過去3年と比較して約1割減で推移しております。

Topics

ウルトラファインバブル水供給中!

*ウルトラファインバブル発生装置の貸出については、申込を頂いた企業様を優先に調整しております。

ウルトラファインバブル水の効果については昨年の県南技研だより等でお知らせしておりますが、現在32社からの申込を頂き、順次供給日程の調整を行っております。ご用命の際は、必要な日時、用途、バブルに入れる気体(空気、窒素、炭酸、酸素、水素)、必要量、容器の持参有無等を確認しております。これから試して見る方も大歓迎ですので、是非お声がけ下さい。尚、2日前迄の事前予約をお願いしておりますので、ご協力をお願いいたします。